

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校 文化デザイナー学院		昭和51年4月1日	飯村 雅史		〒310-0026 水戸市泉町1丁目3番22号 (電話) 029-303-1010	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 リリー文化学園		昭和51年1月22日	理事長 大久保 博之		〒310-0021 水戸市南町2丁目3番14号 (電話) 029-224-4820	
目 的	本学科は、建築・インテリア業界においてインテリアデザイナーとして就職並びに活躍できる人材の育成を目指し、設計からインテリアに関する専門教育並びに、職種に必要な二級建築士やインテリアコーディネーターの資格取得を目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教 養	産業デザイン 専門課程	インテリアデザイン 学科	2年(昼)	2010単位時間 (又は単位)	平成20年文部科学 大臣告示第12号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		870単位時間 (又は単位)	1050単位時間 (又は単位)	45単位時間 (又は単位)	45単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人		26人		2人	22人	24人
学期制度	■1学期：4月1日～9月30日 ■2学期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有)無 ■成績評価の基準・方法について 総合評価 A.B.C.D(D=単位不可) 部分評価を総合して4段階で評価する。	
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月20日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月12日			卒業・進級条件	①出欠は学期内全科目の規定回数を全て満たしている。 ②課題は学期内の規定課題作品を全て提出し、その評価は60点以上である。 ③試験は学期末に行われる期末試験ですべての科目が60点以上である。	

生徒指導	■クラス担任制（有・無） 専任教員が担当する授業のキャリアデザインでは、毎回同じ者が担当する。 また、試験・課題・出欠・就職・学校生活についてはそれぞれの担当がいる。 ■長期欠席者への指導等の対応 電話確認、保護者への連絡、面談など	課外活動	■課外活動の種類 ・キャンドルナイト・茨城県近代美術館ワークショップ・京成通り商店会黄門まつりワークショップ・チョコレートフェスティバル・mito☆ファッションショー・水戸まちなかフェスティバル ■サークル活動（有・無）
就職等の状況	■主な就職先、業界等 設計・デザイン・インテリア・事務所/ハウジング・住宅機器/建設業・工務店/家具・雑貨・インテリアショップ ■就職率^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 100% ■その他（任意） （平成26年度卒業者に関する平成27年5月時点の情報）	主な資格・検定	一級・二級建築士/インテリアコーディネーター/リビングスタイリスト/カラーコーディネーター検定/福祉住環境コーディネーター/商業施設士補/商業施設士/CAD利用技術者試験/二級建築施工管理技士/インテリアプランナー
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成26年4月1日在学者 23名（平成26年4月入学者を含む） 平成27年3月31日在学者 23名（平成27年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 対策として、欠席率の段階によって教職員による面談をしている。1段階指導として担当の面接、2段階指導として主任以上の職員による面接を実施している。また、課題の提出状況も把握し適切に指導出来るように、全ての規定課題（提出義務課題）については教務提出としている。経済的問題に対しても細かく配慮し、保護者との面談を行っている。奨学金や国の教育ローンなどを利用することによる資金計画について相談し、就学困難を回避している。また、昨今増えつつある精神的な病気についても出来る限り配慮することとし、安心して就学出来るように細かい面接等をしている。これらの細部にわたる「学生に対する配慮」が退学率を低くしており、「愛情をもって接する」という一人ひとりのスタッフのスピリッツにより支えられている。		
ホームページ	URL: www.bunka-gakuen.ac.jp		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校は、企業が求める人材ニーズや地域の産業振興の方向性を把握し、職業教育を向上させるために、企業・団体と連携して授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を行うなど、企業等の要請を考慮した実践的かつ専門的な教育課程の編成を行うこととし、各学科の関連業界の動向や地域の産業振興に関して知見を有する業界団体の役職員や、実務に関する知識、技術、技能に関して知見を有する企業の役職員の方々を委員とする教育課程編成委員会を設置し、様々な意見を活用して教育課程を編成することを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年6月15日現在

名 前	所 属
倉田 稔之	茨城デザイン振興協議会
坂 大樹	株式会社 スタジオサカ
椿本 学	いばらき印刷株式会社
橋本 人志	株式会社 水戸京成百貨店
安 浩美	株式会社 アーペ
杉浦 時彦	株式会社 アットワーク
高橋 琢	茨城インテリアコーディネーター協会
小川 憲一	茨城県建築士事務所協会
横須賀 弘	有限会社 コムスペースデザイン
飯村 雅史	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
塙 麻美	専門学校 文化デザイナー学院
菅谷 守	学校法人 リリー文化学園

(開催日時)

第1回 平成27年7月27日 15:00~17:00 (実施予定)

第2回 平成28年2月8日 15:00~17:00 (実施予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校は教育方針として、「職業実践主義」「プロセス・表現主義」「デザインマインド教育」の三つを掲げている。特にデザインプロセスの実践的学習として「情報収集」→「分析」→「企画」→「デザイン制作」→「プレゼンテーション」までの流れを体験的に学習することは、上記の教育方針を総合的に理解することができると思う。

そのために、地域においてデザインを必要とする企業・団体・自治体と連携して学生に「現実的テーマ」を与え、担当講師の指導の下、一連のデザインプロセスについて質の高いデザイン力を習得することを目的として実習・演習を行うことを基本方針とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インテリアデザイン実習	年間の総合進級課題。基本計画、設計製図、模型、パース、インテリア表現。	笠間市 笠間焼協同組合
インテリアCAD I		
建築デザイン	公共建築物・住宅設計をより実務に通用する為の知識と、建築デザインを表現する為の技術力を身に付ける。	笠間市 笠間焼協同組合

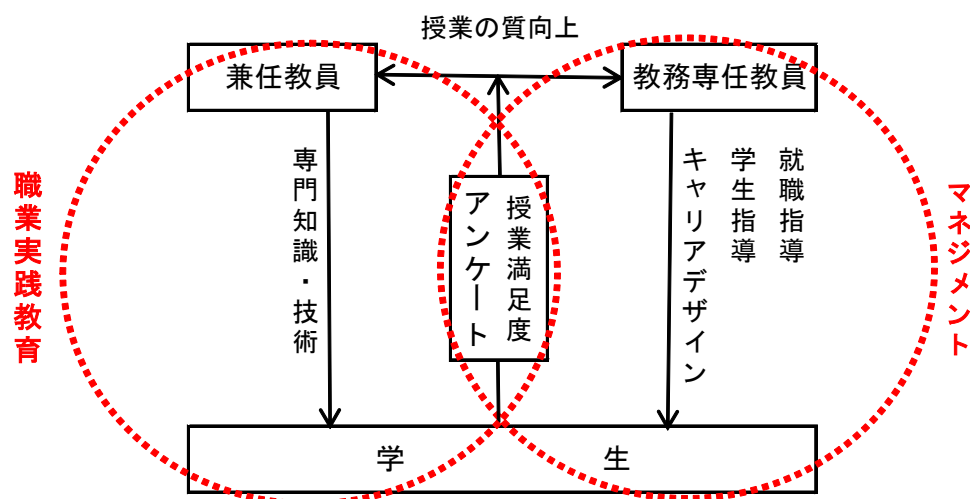
ショップデザイン 実習	ショップデザインを行うために必要な知識と、表現力を身に付ける。また、インテリア表現を意識した作品制作を行う。	笠間市 笠間焼協同組合
インテリアCADⅡ		
プレゼンテーションⅡ		

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「プロによる実践教育」について

本校は、下記図のように、実務に関する知識、技術、技能に関しては「プロの兼任教員」が教授し、学生に対する様々な指導、マネジメントに関しては教務専任教員が担当している。



デザインは、教科書的にまとめられる領域は少なく実務実習型の授業がほとんどである。

従って、授業を受け持つには、例えば、広告デザインの分野では、デザイン構成やDTP技術はグラフィックデザイナーが教え、カラーコーディネートはその有資格者が教え、Webデザインは、Webデザイナーが教えている。インテリアデザインの分野では、設計製図は一級建築士が教え、インテリアコーディネーターはインテリアコーディネーターの有資格者が教え、3DCAD（3次元パース）は建築士の中でも、その技術を習得したプロが教える。また、エクステリアデザインに関しては、造園業にも精通したプロが教えるという具合である。また、本校のファッションコーディネーターは流通小売業の分野を学ぶもので、商品知識、接客、仕入れ、ディスプレイ、経理、はもとより、ネイルアート、フラワーコーディネート、ラッピング、雑貨・ファッション小物制作等、それぞれの専門的授業に対して、その分野のプロが授業を受け持つことが必要になる。

この様な観点から、本校は、ほとんどの授業においてその分野で活躍するプロが授業を担当するため、研修・研究に関しては、プロが行う現場の業務を通して常に先端の技術研修が行なわれているものとする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年6月15日現在

名 前	所 属
新名 勝彦	茨城県中小企業団体中央会
岡田 寛和	株式会社光和印刷
竹越 萌野	株式会社藤代範雄デザイン事務所
山田 行雄	水戸ステーション開発株式会社
青木 唯	アスクウォーク有限会社
住谷 強生	株式会社ジェイディーアールスミヤ
高橋 琢	茨城インテリアコーディネーター協会
関根 貴雄	株式会社関根工務店
阿久津 裕司	株式会社根本建築設計事務所
飯村 雅史	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
塙 麻美	専門学校 文化デザイナー学院
菅谷 守	学校法人 リリー文化学園

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

(開催日時)

第1回 平成27年6月15日 15:00~17:00 予定

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程インテリアデザイン学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			インテリアコーディネーターⅠ(販売)	インテリアコーディネーター資格試験の商品と販売の分野の範囲となり、リビングスタイリスト資格試験の販売知識を学ぶ。	1通	60	4	○		
○			スペースデザイン論Ⅰ	敷地の選定、構造寸法、集合住宅の形式と計画、住宅一般の間取りと平面計画。	1前	30	2	○		
○			住環境デザインⅠ	住宅を建築する上で必要な建築インテリア環境設定を理解する。	1前	30	2	○		
○			雑貨デザイン	生活するうえで必要な生活雑貨を制作する事により、生活雑貨の使われ方から住空間や家具の寸法を導き出す。	1前	60	2		○	
○			測量実習	測量の解説と敷地の平面測量及び高低の測量実習。	1前	45	1			○
○			プレゼンテーションⅠ	コラージュ、デッサンなど基礎的な観察力・発想力を高め、作品のまとめ方とプレゼンテーション力をつける。	1前	60	2		○	
○			インテリア造形Ⅰ	平面図の立体スケッチ法(展開・立面・パース)を学び建築模型制作の基礎実習。	1前	30	1		○	
○			インテリアデザイン研究	各種建築物の研究・リサーチ(目的・用途・デザイン・構造等)を建築史と世界史より学ぶ。	1前	30	2	○		
○			インテリアカラー	カラーの基礎知識を学ぶと共に、色彩・明度・彩度など色の特性、イメージのカラープランニング力を修得する。	1前	30	2	○		
合計				科目	単位時間(単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程インテリアデザイン学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			インテリアデザイン実習	建築と生活に関わる寸法を把握する。そして、建築空間を考える技法の習得。建築パースを描く上での図法、透視図法や透視図法の作図。自分でイメージする。	1前	60	2		○	
○			インテリアデザイン製図I	図面の機能や読み方から線一本を引く練習から始まり、平面図・展開図・立面図等の作図。	1前	60	2		○	
○			インテリアCAD I	ベクターワークスによる作図手順の解説と作図演習。3DCADにて立体表現を行う前の図面知識を修得する。	1後	60	2		○	
○			ショップデザイン研究	アイディア発想・イメージレッスン・コンセプト設定～空間構成の訓練。	1後	30	1		○	
○			インテリア一般構造	各種材料の力学的な強度実験、木材、石材、セメント、コンクリート、金属、塗料等の性質と用途。	1後	30	2	○		
○			インテリアデザイン実習	年間の総合進級課題。住空間のデザインを基本計画・設計製図、模型、パース、インテリア表現。	1後	60	2		○	
○			プレゼンテーションI	実際にショップのデザインを行いながら、相手に考えを表現として伝える方法を学ぶ。	1後	30	1		○	△
○			カラーコーディネーター対策講座	カラーコーディネーター3級合格に向けた特別講義。	1後	30	2	○		
○			インテリア材料実験	コンクリートの性質を理解し、実際にコンクリートを作り、破壊する実験をする。鉄筋については引っ張り実験を行う。	1後	45	1			○
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程インテリアデザイン学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			インテリア設備	換気・空調・給排水・電気・照明等・各種建築設備の機能。時代のニーズに応えられるインテリア住宅機器の商品知識を学ぶ。	1後	30	2	○		
○			インテリア法規Ⅰ	建築物を設計する上で必要とされる建築基準法及び関係法令の知識。	1後	30	2	○		
○			インテリアデザイン製図Ⅰ	居住施設の配置、平面、断面、展開、かなばかり、各部詳細、仕上げ表等の作図。	1後	60	2		○	
○			はじめよう建築法規	二級建築士受験にも使用する建築基準法令集の対策準備。	1後	30	2	○		
○			キャリアデザインⅠ	自己のアイデンティティを再確認し、将来の専門分野での適性を考える。	1通	60	4	○		
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程建築インテリアデザイン学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			家具デザイン	生活様式と家具の歴史、各種家具の構造把握からデザイン設計図。住空間における家具の存在と配置の仕方を学ぶ。	2前	60	2		○	
○			インテリア建築法規Ⅱ	建築物を設計する上で必要とされる様々な制限・地域・その他の法の理解。	2前	30	2	○		
○			福祉住環境コーディネーター対策講座	住宅設計上必要な、介護・医療・福祉の知識・バリアフリー住宅の計画、提案・リフォーム。	2前	30	2	○		
○			インテリアデザイン製図Ⅱ	RC造/S造の配置、平面、断面、展開、かなばかり、各部詳細、仕上げ表等の作図。	2前	30	1		○	
○			インテリアCADⅡ	ベクターワークスによるインテリアデザインの3D表現。外観・内観パースを作成する事を学ぶ。	2前	60	2		○	
○			ショップデザイン実習	歴史的建築物の研究。建築空間の表現要素、目的と効果、つくる要素を学び、商業施設の計画方法を学ぶ。	2前	60	4	○		
○			インテリア造形Ⅱ	設計図に基づく建築模型の製作技法と、プレゼンテーションの表現方法。インテリアの制作技術も学び空間にリアル感を与える。	2前	60	2		○	
○			インテリアコーディネーターⅡ(技術)	インテリアコーディネーター資格試験の計画と技術の範囲となり、歴史・計画・環境工学・構造と施工の表現方法を学ぶ。	2前	30	2	○		
○			プレゼンテーションⅡ	Adobeのイラストレーターとフォトショップを使い、ショップディスプレイ&インテリアを表現する為のデザintaの表現力を身に付ける	2前	60	2		○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程建築インテリアデザイン学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			インテリアデザイン施工	建築施工に準じながら構造、部材、工事別の内容に添った積算法。建築工事請負契約書、仕様書、工程管理、各種工事の概要、現場の管理と指導。	2前	30	2	○		
○			構造デザイン	基本的な構造や計算の仕方などを解法。断面による係数、たわみ、座屈、曲げせん断力、ラーメンの応力の理解。	2前	30	2	○		
○			ガーデンデザイン	近年のライフスタイルに合わせたガーデンデザインを実習を通して学び、建築との関連性を身に付ける。	2後	60	2		○	
○			住環境デザインⅡ	室内気候と環境、換気、伝熱、日照、照明等の設計上必要な環境条件の把握	2後	30	2	○		
○			スペースデザイン論Ⅱ	二級建築士資格取得に向けた、建築計画のまとめ。	2後	30	2	○		
○			プレゼンテーションⅡ	Adobe のイラストレーター・フォトショップ 使い、実際にショップデザインを表現する。3D パースに付加価値をもたらす技術を身に付ける。	2後	60	2		○	
○			インテリアCADⅡ	ベクターワークスにより、実際にショップデザインを行う際の 3D パースを作成する。	2後	60	2		○	
○			インテリアデザイン施工	二級建築士資格取得に向けた、建築施工のまとめ。	2後	30	2	○		
○			ショップデザイン実習	商業施設を中心とした修了制作課題(ショップデザイン提案)コンセプト設定～各種図面、インテリア表現、プレゼンテーション技法。	2後	60	2		○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程建築インテリアデザイン学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			インテリアデザイン論	現代建築を中心に講義・スライド・視察から建築意匠の楽しさと建築を創作するための思考を学ぶ。	2後	30	2	○		
○			構造デザイン	二級建築士資格取得に向けた、建築構造のまとめ。	2後	30	2	○		
○			インテリア建築法規Ⅱ	二級建築士資格取得に向けた、建築法規のまとめ。	2後	30	2	○		
○			インテリアデザイン製図Ⅱ	二級建築士合格に向けた実践的な製図実習。	2後	30	1		○	
○			インテリアコーディネーターⅡ(技術)	インテリアコーディネーター資格試験の計画と技術の範囲となり、色彩と造形・建築関連法規・住宅設備・材料・住宅と社会を学ぶ。	2後	30	2	○		
○			キャリアデザインⅡ	社会の中でのアイデンティティを再発見し、将来の専門分野の進路への手がかりを得る。	2通	60	4	○		
合計				47科目	2010単位時間(95単位)					